



ここは、とある町にある一風変わった診療所。悩みを抱えたユーザインタフェースたちがやってきます。Dr. ナカムラと一緒に病気を治してあげましょう。さて、今日の患者さんたちはどのような悩みを抱えているのでしょうか・・・

Dr. N 「次の方どうぞ～」

患者 A 「こんにちは。私は、もともとアメリカで販売されていたアクションゲームです。日本で展開するに当たって、メッセージ翻訳などのローカライズは行っているのですが、どうもアメリカでは出ていなかった不満が寄せられているようで困っています」

Dr. N 「うーん、ちょっとプレイさせてもらえますか？」

患者 A 「はいどうぞ。こちらのコントローラの十字キーで動かして、○でジャンプ、×で攻撃です！」

Dr. N 「ふむふむ。なるほど。おっ、結構難しいですねえ」

患者 A 「はい、この絶妙な難易度がウケています！」

Dr. N 「(しばらく無言で…) あ～、死んじゃいました。あと少しなだけどなあ。おっと、コンティニューができるんですね (図1)。ここはもう一度チャレンジさせてもらいます！」

患者 A 「先生もハマってますね！」



図1 どっちが『イエス』?

Dr. N 「あれっ? 最初に戻っちゃった」

患者 A 「えっ? どのボタンを押しました?」

Dr. N 「もちろん、コンティニューしたいので、『○』ボタンを押しましたよ…」

患者 A 「先生。ちゃんとメッセージを読んでくださいよ。コンティニューする場合は、チェックマークの『×』ですよ。『○』は電源オフのマークとして国際的に使われているように*1、オフ、すなわちコンティニューしないに決まってるじゃないですか！」

Dr. N 「もしかして、このボタンの割り当てって、アメリカ版と同じですか?」

患者 A 「もちろんです。こんなの常識ですよ！」

Dr. N 「ちょっと待ってください。確かに欧米では決定に× (=「チェック」の意味)、キャンセルに○ (=「オフ、無し」の意味)を使いますが、日本ではその逆で、決定に○ (=「マル」)、キャンセルに× (=「バツ」)を使います。だから多くの日本人は、小さく書かれた『しない』『する』というテキストを読まずに、○がYES、×がNOだと思って間違えてしまうんです」

患者 A 「それで日本では不評だったんですね。ようやく理由がわかりました」

Dr. N 「ゲームなどのプログラムをローカライズするときには、メッセージの翻訳だけではなく、このマークのように、文化的な違いについても考える必要があります*2。対応付けを逆にするなど、修正してもらってください」

患者 A 「ありがとうございました。治してもらいます」

Dr. N 「お大事に。さて、次の人どうぞ～」

患者 B 「こんにちは。私は、とある外資系企業で使われている書類です。本社のあるアメリカでは問題ないのですが、なぜか日本では書き間違いが頻発するので、いつも本社から怒られています」

Dr. N 「ちょっと診せてもらえますか?」

患者 B 「はいどうぞ (図2)」

氏名

1番目の名	最後の名

誕生日

	/		/	
月		日		年

図2 名前と誕生日の順番が変

Dr. N 「これ、アメリカで使われている書式と同じですか?」

*1 IEC 60417-5008、元の意味は数字の『ゼロ』。電源オンは『縦棒(数字の1)』で60417-5007

*2 一部のゲームでは、仕向地に応じてボタンの割当を入れ替えている。例えば：http://www.sonydna.com/sdna/solution/pr_loc/blog/20141203.html

患者 B「帳票の項目は全世界共通です。もちろん翻訳はしていますよ」

Dr. N「『1番目の名』は first name を、『最後の名』は last name の直訳ですね。これでは意味が通じないので、『名』『姓』とするべきでしょう。それに順番も逆ですよ」

患者 B「言われてみればそうですね」

Dr. N「あと、次の出生日の欄も、『年/月/日』の順で記入してしまう人が多いのでは？」

患者 B「はいそうです！よくわかりましたね」

Dr. N「アメリカでは日付の表記が『月/日/年』ですが、日本は『年/月/日』が普通です。あと、英語圏では月を Jan. などの単語で表記することが多いので、『月』の記入欄が長くなってらるんでしょけど、日本の場合は年の数字が4桁で一番長いことも、間違いの原因です」

患者 B「言われてみれば…」

Dr. N「名前・日時・住所などの記述様式は、国や文化圏によって大きく異なりますので、注意が必要です。当該地域の出身者にチェックして貰うのも有効です」

患者 B「ありがとうございます。治してもらいます」

…効率を考えると、記号や表記を世界中で統一するのが理想なんだろうけど、文化や習慣の問題だから難しいだろう

なあ… さてと、先日アメリカで格好良い書類トレーを買ってきたことだし、整理でもするかな。あれ？ いまいち紙がうまく入らないぞ… しまった！ これレターサイズだ…」

今回の症例はいかがでしたか？ 読者の皆さんも、なぜこのような問題が発生したのか、どうすれば改善できるのかを考えてみてください（下のカルテに一例がありますが、もちろん答えはこれだけではありません）。なお、よりよい改善方法を思いついた方や、Dr. ナカムラに診てもらいたい患者をご存じの方は、<http://up.badui.org/> にご一報ください。



担当医：Dr. ナカムラ

BADUI 蒐集家。

日々新たな BADUI との出会いを求め、カメラ片手に世界を飛び回る。

BADUI 図鑑「失敗から学ぶユーザインタフェース（技術評論社）」を出版。

Dr. トモクワの UI トリビア

日付の表記は、「年/月/日」（日本）、「月/日/年」（米国）、「日/月/年」（英国やドイツ）など様々な様式がある。並び順以外にも区切り文字や単語表記などの違いも多い（コンピュータの「日付と時刻」などの設定項目を見てみよう）。他にも、インドでは時刻が「12:34」ではなく、「1234 hrs」などと書かれたりするぞ。

診療カルテ	
ID	BADUI - 25
氏名	翻訳されたUIさんたち
原因・主要症状・経過など	<p>2018.3.6</p> <p>UIのローカライズには異状決山</p> <ul style="list-style-type: none"> ○と×の2-つの意味 <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ XがYes, OがNo ・日本 OがYes, XがNo 書く順番の違い <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ 名-姓, 月日, 年 ・日本 姓-名, 年/月/日 他にも大きさの違いや単位の違いなど色々と思わせ
処方・手術・処置など	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ローカライズの際には、単語のわかりやすさだけでなく、マ-クや順序の意味なども考慮可子!! 事前に現地の人にテストしてもらい可子が重要!! <p>中村 聡史 (明治大学)</p>